

令和 8年 4月 1日

(宛名) 野田市議会議長

会 派 名 六諭会

経理責任者名 川崎 貴志

野田市政務活動費収支報告書

次のとおり令和7年度野田市政務活動費に係る収入及び支出について報告します。

1 収 入

政務活動費 1, 620, 000 円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	832, 516	行政視察（糸島市、多久市、大村市） 行政視察（流山市） 行政視察（福岡市、氷見市、須坂市、 国道事務所）
研 修 費	0	
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
資料作成費	1, 272	複写機使用料
資料購入費	0	
備品購入費	0	
その他の経費	184, 726	NHK受信料 他
合 計	1, 018, 514	

3 残 額

601, 486円

(四)

[illegible]

(別紙3)

旅 費 支 出 内 訳 書

会派名 六 論 会

視 察 日	令和 7 年 7 月 29 日 (火) ~ 令和 7 年 7 月 31 日 (木) 3日間				
視察場所	①福岡県糸島市 ②佐賀県多久市 ③長崎県大村市				
調査事項	① 移住・定住促進事業について ② 小中一貫教育、義務教育学校の取組について ③ しあわせ循環コミュニティ事業について				
参加人員 5	支 出	内 訳			領収書 チケット
	2,705	保険代	541 円	× 5 人	○ № 1- 1
	12,078	お土産代	12,078 円		○ № 1- 2
7月29日	670	東武アーバンパーク ライン・スカイツリーライ ン乗車券 (運河 ~ 北千住)	670 円	× 1 人	
	607	東武アーバンパーク ライン・スカイツリーライ ン乗車券 (愛宕 ~ 北千住)	607 円	× 1 人	
	534	東武アーバンパーク ライン・スカイツリーライ ン乗車券 (清水公園 ~ 北千住)	534 円	× 1 人	
	1,068	東武アーバンパーク ライン・スカイツリーライ ン乗車券 (川間 ~ 北千住)	534 円	× 2 人	
	1,590	JR乗車券 (北千住 ~ 品川)	318 円	× 5 人	
	1,635	京急本線 (品川 ~ 羽田空港第1・第2ターミ ナル)	327 円	× 5 人	
	125,300	ANA3843便 (羽田空港 ~ 福岡空港)	25,060 円	× 5 人	○ № 1- 3
	3,400	福岡市地下鉄空港線 (福岡空港 ~ 筑前前原)	680 円	× 5 人	
	1,000	昭和バス (前原駅北口 ~ 国際村前)	200 円	× 5 人	
	72,000	宿泊代 (5人分)	14,400 円	× 5 人	○ № 1- 4
	10,000	夕食代 (5人分)	2,000 円	× 5 人	○ № 1- 5
小 計	232,587				

	支 出	内 訳	領収書	チケット
7月30日	1,000	(国際村前 ~ 前原駅北口) 昭和バス 200 円 × 5 人		
	16,500	JR乗車券(通し切符:筑前前原駅から大村駅まで) (筑前前原 ~ 中多久) 3,300 円 × 5 人	○	№ 1-6
	0	JR乗車券(通し切符:筑前前原駅から大村駅まで) (中多久 ~ 大村) 0 円 × 5 人	○	№ 1-6
	64,000	宿泊代 (5人分) 12,800 円 × 5 人	○	№ 1-4
	10,000	夕食代 (5人分) 2,000 円 × 5 人	○	№ 1-7
小 計	91,500			

	支 出	内 訳	領収書	チケット
7月31日	1,500	(大村市役所 ~ 長崎空港) 長崎県営バス 300 円 × 5 人		
	62,520	(長崎空港 ~ 羽田空港) JAL612便 15,630 円 × 4 人	○	№ 1-3
	19,150	(長崎空港 ~ 羽田空港) JAL612便 19,150 円 × 1 人	○	№ 1-3
	1,635	(羽田空港第1・第2ターミナル ~ 品川) 京急空港線 327 円 × 5 人		
	1,590	(品川 ~ 北千住) JR乗車券 318 円 × 5 人		
	1,068	(北千住 ~ 川間) 東武アーバンパークライン・スカイツリーライン乗車券 534 円 × 2 人		
	534	(北千住 ~ 清水公園) 東武アーバンパークライン・スカイツリーライン乗車券 534 円 × 1 人		
	607	(北千住 ~ 愛宕) 東武アーバンパークライン・スカイツリーライン乗車券 607 円 × 1 人		
	670	(北千住 ~ 運河) 東武アーバンパークライン・スカイツリーライン乗車券 670 円 × 1 人		
小 計	89,274			
合 計	413,361			

T7030001064324



領 収 証



№ 035988

2025年7月22日

野田市議会 六瀬会 様

¥136,000

但し消費税を含む

上記の金額正に領収いたしました

常代金として (7/29 @ 72,000円, 7/30 @ 64,000円)



領収内訳	売上代金			円
	消費税額	10%	4,123.64	

(埼玉県知事登録旅行業)
株式会社 旅クラ

〒343-0041 埼玉県越谷市

TEL 048-978-6066 FAX

〒346-0016 埼玉県久喜市

TEL 0480-22-6066

T7030001064324

領 収 証

野田市議会 六瀬会 様

No.

登録番号

金 額

¥ 100,000 -

お食事代として

但

R7年7月29日 上記正に領収いたしました

収入印紙

【内 訳】

現金	税 率	%
切手	金額(税込)	
形	消費税額等	
	税 率	%
	金額(税込)	
	消費税額等	

ごはん居酒屋 ゆづ

〒819-1116

糸島市前原中央2丁目3-29

TEL・FAX (092) 324-6500

T5290002033329(消費税10%込みです)



領 収 証



№ 035989

2025年 7月 22日

野田市議会 六諭会 様

¥18,700

但し消費税を含む

7/30 JR乗車代とL2

上記の金額正に領収いたしました



(埼玉県知事登録旅行業第...)

株式会社 旅クラ

✓越谷:〒343-0041 埼玉県越谷市...

TEL 048-978-6066 FAX

□久喜:〒346-0016 埼玉県久喜市久喜東1-14-10

TEL 0480-22-6066

T7030001064324

領収内訳	売上代金			円
	消費税額	10%	¥1,700	

政務活動費より 16,500 円支出

居酒屋松つつん

長崎県大村市 水主町1-747-1

電話: 0957516684

登録番号: T6310001018608

領収書

2025年7月30日

野田市議会 六諭会 様

¥10,000-

但し

ご飲食代として

上記正に領収いたしました

<本証取扱い上のお願い>

財布等に入れ保管される場合、印字面を内側に折って保管してください。

搭乗証明書

WEB 1b895f21cb-152906-0-1
表示日 2025年08月06日(水)

搭乗者 フルハシ トシオ様

搭乗日 2025年07月29日(火)

航空会社 ANA

便名 3843

区間 東京(羽田) - 福岡

AIRPORT CODE:HND-FUK
FARE TYPE CODE:SV45I

 | A STAR ALLIANCE MEMBER 
ANA/全日本空輸株式会社
ANA/ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD

搭乗証明書

WEB 5cdbd3f96a-152434-0-1
表示日 2025年08月06日(水)

搭乗者 オウラ ヒトシ様

搭乗日 2025年07月29日(火)

航空会社 ANA

便名 3843

区間 東京(羽田) - 福岡

AIRPORT CODE:HND-FUK
FARE TYPE CODE:SV45I

 | A STAR ALLIANCE MEMBER 
ANA/全日本空輸株式会社
ANA/ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD

搭乘証明書

WEB 1b4040245d-152930-0-1
表示日 2025年08月06日(水)

搭乗者	ソメヤ シンイチ様
搭乗日	2025年07月29日(火)
航空会社	ANA
便名	3843
区間	東京(羽田) - 福岡

AIRPORT CODE:HND-FUK
FARE TYPE CODE:SV45I



搭乘証明書

WEB 99ebb77d2c-152831-0-1
表示日 2025年08月06日(水)

搭乗者	ハマダ ユウジ様
搭乗日	2025年07月29日(火)
航空会社	ANA
便名	3843
区間	東京(羽田) - 福岡

AIRPORT CODE:HND-FUK
FARE TYPE CODE:SV45I



搭乗証明書

WEB 7c01e4a626-152607-0-1

表示日 2025年08月06日(水)

搭乗者 カワサキ タカシ様

搭乗日 2025年07月29日(火)

航空会社 ANA

便名 3843

区間 東京(羽田) - 福岡

AIRPORT CODE:HND-FUK

FARE TYPE CODE:SV45I

ANA | A STAR ALLIANCE MEMBER

ANA/全日本空輸株式会社
ANA/ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD



ご搭乗案内

Boarding information slip

----- この控えは着地までご携帯ください -----

ソメヤ シンイチ様 064

◆出発DEPARTURE

◆行先DESTINATION

長崎 ⇒ 東京

NAGASAKI

TOKYO HANEDA

◆便名FLIGHT

JAL 612

◆搭乗口GATE

◆座席SEAT

2

26H

◆搭乗日DATE

◆運賃種別 FARE TYPE

7/31

OHFSLEAB

◆出発時刻 DEP. TIME

◆搭乗締切時刻 Boarding Close Time

15:05 14:55

◆搭乗案内 BOARDING INFORMATION

BOARDING GROUP 5

出発時刻 10 分前までに搭乗口へ
お越しにならなかった場合はご搭乗いただけません

これは搭乗控えです 搭乗口では保安検査場と同じ
JAL-ICまたは2次元バーコードをかざしてください

Operation JAL



ご搭乗案内

Boarding information slip

----- この控えは着地までご携帯ください -----

オウラ ヒトシ様 066

◆出発DEPARTURE

◆行先DESTINATION

長崎 ⇒ 東京

NAGASAKI

TOKYO HANEDA

◆便名FLIGHT

JAL 612

◆搭乗口GATE

◆座席SEAT

2

27K

◆搭乗日DATE

◆運賃種別 FARE TYPE

7/31

QHFTHEAB

◆出発時刻 DEP. TIME

◆搭乗締切時刻 Boarding Close Time

15:05 14:55

◆搭乗案内 BOARDING INFORMATION

BOARDING GROUP 3

出発時刻 10 分前までに搭乗口へ
お越しにならなかった場合はご搭乗いただけません

これは搭乗控えです 搭乗口では保安検査場と同じ
JAL-ICまたは2次元バーコードをかざしてください

Operation JAL



ご搭乗案内

Boarding information slip

----- この控えは着地までご携帯ください -----

フルハシ トシオ様 067

◆出発DEPARTURE

◆行先DESTINATION

長崎 ⇒ 東京

NAGASAKI

TOKYO HANEDA

◆便名FLIGHT

JAL 612

◆搭乗口GATE

◆座席SEAT

2

26K

◆搭乗日DATE

◆運賃種別 FARE TYPE

7/31

OHFSLEAB

◆出発時刻 DEP. TIME

◆搭乗締切時刻 Boarding Close Time

15:05 14:55

◆搭乗案内 BOARDING INFORMATION

BOARDING GROUP 3

出発時刻 10 分前までに搭乗口へ
お越しにならなかった場合はご搭乗いただけません

これは搭乗控えです 搭乗口では保安検査場と同じ
JAL-ICまたは2次元バーコードをかざしてください

Operation JAL



ご搭乗案内

Boarding information slip

-----この控えは着地までご携帯ください-----

カワサキ タカシ様 069

◆出発DEPARTURE ◆行先DESTINATION

長 崎 ⇒ 東 京

NAGASAKI TOKYO HANEDA

◆便名FLIGHT

JAL 612

◆搭乗口GATE ◆座席SEAT

2 26J

◆搭乗日DATE ◆運賃種別 FARE TYPE

7/31 OHFSLEAB

◆出発時刻 DEP. TIME ◆搭乗締切時刻 Boarding Close Time

15:05 14:55

◆搭乗案内 BOARDING INFORMATION

BOARDING GROUP 4

！発時刻10分前までに搭乗口へ
！越しにならなかった場合はご搭乗いただけません

これは搭乗控えです 搭乗口では保安検査場と同じ
AL-ICまたは2次元バーコードをかざしてください

Operation JAL



ご搭乗案内

Boarding information slip

-----この控えは着地までご携帯ください-----

ハマダ ユウジ様 068

◆出発DEPARTURE ◆行先DESTINATION

長 崎 ⇒ 東 京

NAGASAKI TOKYO HANEDA

◆便名FLIGHT

JAL 612

◆搭乗口GATE ◆座席SEAT

2 27J

◆搭乗日DATE ◆運賃種別 FARE TYPE

7/31 OHFSLEAB

◆出発時刻 DEP. TIME ◆搭乗締切時刻 Boarding Close Time

15:05 14:55

◆搭乗案内 BOARDING INFORMATION

BOARDING GROUP 4

！発時刻10分前までに搭乗口へ
！越しにならなかった場合はご搭乗いただけません

これは搭乗控えです 搭乗口では保安検査場と同じ
AL-ICまたは2次元バーコードをかざしてください

Operation JAL

(別紙3)

旅 費 支 出 内 訳 書

会派名

六 論 会

視 察 日	令和 8年 1月 21日 (水)				1日間
視察場所	流山市消防本部・中央消防署庁舎				
調査事項	・流山市消防本部・中央消防署庁舎について				
参加人員 6	支 出	内 訳		領収書	チケット
	2,376	お土産代		2,376 円	○ № 2 - 1
1月21日	1,160	自家用車 (関宿台町・野田市役所経由流山市消防本部)			
		(往復) 20 円 × 58 km			
合 計	3,536				

① 調査研究費(第 2-1)

領 収 証

野田市議会六術会様

No. _____

★ ￥2,376-

但し 代金と記

R8年 1 月 9 日 上記正に領収いたしました

収 入
印 紙

税率	金額(税抜・税込)	消費税額等
10%		
8%	¥2,376	¥176

株式会社 大

川 屋

〒278-0037 千葉県野田
TEL. 04-7124-2461 FAX
登録番号 T1-0400-0107-112



(別紙3)

旅 費 支 出 内 訳 書

会派名 六諭会

視 察 日	令和 8年 2月 4日 (水) ~ 令和 8年 2月 7日 (土) 4日間				
視察場所	①福井県福井市 ②富山県氷見市 ③長野県須坂市 ④長野国道事務所				
調査事項	① 重層的支援体制整備事業について ② 氷見市芸術文化館について ③ 須坂長野東インターチェンジ周辺地区開発について ④ 自然災害の対策について				
参加人員 5	支 出	内 訳			領収書 チケット
	1,185	保険代	237 円 × 5 人	○	№ 3-1
	14,124	お土産代	14,124 円	○	№ 3-2, 3-3
2月4日	481	東武アーバンパークライン 運河 ~ 大宮 乗車券	481 円 × 1 人		
	429	東武アーバンパークライン 愛宕 ~ 大宮 乗車券	429 円 × 1 人		
	429	東武アーバンパークライン 清水公園 ~ 大宮 乗車券	429 円 × 1 人		
	429	東武アーバンパークライン 七光台 ~ 大宮 乗車券	429 円 × 1 人		
	377	東武アーバンパークライン 川間 ~ 大宮 乗車券	377 円 × 1 人		
	40,150	JR乗車券 (大宮 ~ 福井)	8,030 円 × 5 人	○	№ 3-4
	32,450	新幹線特急券 (大宮 ~ 福井) かがやき	6,490 円 × 5 人	○	№ 3-5
	40,150	JR乗車券(通し切符 福井→新高岡→長野→大宮)	8,030 円 × 5 人	○	№ 3-4
	14,850	新幹線特急券 (福井 ~ 新高岡) つるぎ	2,970 円 × 5 人	○	№ 3-5
	1,650	JR乗車券 (新高岡 ~ 氷見)	330 円 × 5 人		
	62,300	宿泊代 (5人分)	12,460 円 × 5 人	○	№ 3-6
	10,000	夕食代 (5人分)	2,000 円 × 5 人	○	№ 3-7
小 計	219,004				

	支 出	内 訳	領収書	チケット
2月5日	1,650	JR乗車券 (氷見 ~ 新高岡) 330 円 × 5 人		
	0	JR乗車券(通し切符 福井→新高岡→長野→大宮) (新高岡 ~ 長野) 0 円 × 5 人	○	No 3-4
	19,800	新幹線特急券 (新高岡 ~ 長野) はくたか 3,960 円 × 5 人	○	No 3-5
	3,400	長野電鉄長野線 (長野 ~ 須坂) 680 円 × 5 人		
	56,750	宿泊代 (5人分) 11,350 円 × 5 人	○	No 3-6
	10,000	夕食代 (5人分) 2,000 円 × 5 人	○	No 3-8
小 計	91,600			

	支 出	内 訳	領収書	チケット
2月6日	3,400	長野電鉄長野線 (須坂 ~ 長野) 680 円 × 5 人		
	72,500	宿泊代 (5人分) 14,500 円 × 5 人	○	No 3-6
	10,000	夕食代 (5人分) 2,000 円 × 5 人	○	No 3-9
小 計	85,900			

	支 出	内 訳	領収書	チケット
2月7日	0	JR乗車券(通し切符 福井→新高岡→長野→大宮) (長野 ~ 大宮) 0 円 × 5 人	○	№3-4
	15,850	新幹線特急券 あさま (長野 ~ 大宮) 3,170 円 × 5 人	○	№3-5
	377	東武アーバンパークイン乗車券 (大宮 ~ 川間) 377 円 × 1 人		
	429	東武アーバンパークイン乗車券 (大宮 ~ 七光台) 429 円 × 1 人		
	429	東武アーバンパークイン乗車券 (大宮 ~ 清水公園) 429 円 × 1 人		
	429	東武アーバンパークイン乗車券 (大宮 ~ 愛宕) 429 円 × 1 人		
	481	東武アーバンパークイン乗車券 (大宮 ~ 運河) 481 円 × 1 人		
	1,120	JR乗車券・指定席特急券払戻手数料(1人分)	○	№3-10-1~4
小 計	19,115			
合 計	415,619			

書 収 領

大人 (5) 名 小人 () 名 () 名

¥1,185

2/4～2/7傷害保険料として

① 調査研究費(Ⅲ3-2)

領 収 証

野田市議会大舘会様

No. _____

★ ￥ 10,593 -

但しお品代とL2

R8年 1 月 9 日 上記正に領収いたしました

収 入
印 紙

税率	金額(税抜・税込)	消費税額等
10%	¥3,465	¥315
8%	¥7,128	¥528

株式会社 大 川 屋
〒278-0037 千葉県野田
TEL. 04-7124-2461 FAX
登録番号 T1-0400-0107-1127



① 調査研究費(Ⅲ3-3)

領 収 証

野田市議会大舘会様

No. _____

★ ￥ 3,531 -

但しお品代とL2

R8年 1 月 23 日 上記正に領収いたしました

収 入
印 紙

税率	金額(税抜・税込)	消費税額等
10%	¥1,155	¥105
8%	¥2,376	¥176

株式会社 大 川 屋
〒278-0037 千葉県野田
TEL. 04-7124-2461 FAX
登録番号 T1-0400-0107-1127



領 収 書

No: 86375 - 5108 - 3-1 発行日: 2026年1月27日

埼玉県知事登録旅行業第2-808号
株式会社 旅クラブジャパン
〒343-0041埼玉県越谷市千間台西5-3-58
TEL 048-978-6066 FAX 048-973-1123
代表取締役社長 天野正幸
国内旅行業務取扱管理者 天野正幸
取扱担当者

登録番号: T7030001064324
人数 (5) 名
大人 (5) 名 小人 () 名 () 名

野田市議会 六諭会 様

旅行日 2026年2月4日 (水) ~ 2026年2月7日 (土)
行先 福井 富山 長野

下記、正に領収いたしました。

金額(税込)	¥85,550
--------	---------

摘 要	数 量	単 価(税込)	金 額(税込)	税 率
乗車券代	1	85,550	85,550	10%

税率区分	税抜金額	消費税	税込金額	
合 計	77,773	7,777	85,550	
10%対象	77,773	7,777	85,550	
8%対象				
0%対象				

※は軽減税率対象
(非)は非課税対象

JR乗車券代として (2/4:51,700円、2/5:33,850円)

政務活動費割 80,300円 支出 (3/4 ① 40,150円、② 40,150円) 差額 5,250円は
対象外

No: 86375 - 5108 - 2 発行日: 2026年1月27日

埼玉県知事登録旅行業第2-808号
株式会社 旅クラブジャパン
〒343-0041埼玉県越谷市千間台西5-3-58
TEL 048-978-6066 FAX 048-973-1123
代表取締役社長 天野正幸
国内旅行業務取扱管理者 天野正幸
取扱担当者

登録番号: T7030001064324
人数 (5) 名
大人 (5) 名 小人 () 名 () 名

領 収 書

野田市議会 六諭会 様

旅行日 2026年2月4日 (水) ~ 2026年2月7日 (土)
行先 福井 富山 長野

下記、正に領収いたしました。

金額(税込)	¥191,550
--------	----------

摘 要	数 量	単 価(税込)	金 額(税込)	税 率
宿泊代	1	191,550	191,550	10%

税率区分	税抜金額	消費税	税込金額	
合 計	174,137	17,413	191,550	
10%対象	174,137	17,413	191,550	
8%対象				
0%対象				

※は軽減税率対象
(非)は非課税対象

宿泊代として (2/4:62,300円、2/5:56,750円、2/6:72,500円)

領収書

No. 00011970-00

2026/02/04

登録番号: T7100001039005

野田市議会 六議会 様

金額	¥ 10,000 -
----	------------

内訳
10%税込 対象合計

10,000 内消費税

909

但し、御食事代(2,000X5名)
(現金)

として、

上記金額正に領収いたしました。

ルートイングランティア氷見 和蔵の宿

〒935-0063 富山県氷見市加納443-5

TEL:0766-73-1771

FAX:0766-73-1778

ルートインジャパン株式会社

作成地:長野県上田市中央3丁目8番7号

印紙税申告納
付につき上田
税務署承認済

担当者

領収証

野田市議会六議会 様

No.

★ ¥10,000-

但し、飲食代として

2026年2月5日 上記正に領収いたしました 登録番号

T3810579911309

内訳	税率	金額(税抜/税込)
	10%	¥10,000-
		消費税額等
		¥909-
税率	金額(税抜/税込)	
	%	消費税額等

収入
印紙

コクヨ ウケ-1097

蔵四季

〒382-0087 須坂市東横町126番地の1
TEL 026-246-4237

2026年2月6日(金)

領収証

六議会 様

¥10,000-

預/現計 ¥10,000 (消費税等

¥908)

但し書・(消費税10%含む) 飲食代

908円を含みます)

内訳2,000円X5名様
お食事代

様 屋びくら TEL026-264-771
長野県長野市末広町1355-5 ウェストプラザ長野
事業者登録番号: T6100002004207

※ 財布等で保管戴く場合、印象面を内側に折って保管

担当者

0001-7040

① 調査研究費(№3-10-1)

払戻計算書		
商品名 :	JR乗車券類	1枚
原券金額 :	¥3,410- 税10%	
払戻対象額 :	¥3,410- 税10%	
手数料 :	¥220- 税10%	
払戻額合計 :	¥3,190-	使用開始日:2026.-2.-6
(現金扱い)		
原券購入日:2026.-1.22		
東日本旅客鉄道(株)(T9011001029597)		
2026.-2.-4 09:50	50124-01	柏駅F1発行

① 調査研究費(№3-10-2)

払戻計算書		
商品名 :	JR乗車券類	1枚
原券金額 :	¥3,170- 税10%	
払戻対象額 :	¥3,170- 税10%	
手数料 :	¥340- 税10%	
払戻額合計 :	¥2,830-	使用開始日:2026.-2.-6
(現金扱い)		
原券購入日:2026.-1.14		
東日本旅客鉄道(株)(T9011001029597)		
2026.-2.-4 09:50	40123-01	柏駅F1発行

① 調査研究費(№3-10-3)

払戻計算書		
商品名 :	JR乗車券類	1枚
原券金額 :	¥3,410- 税10%	
払戻対象額 :	¥3,410- 税10%	
手数料 :	¥220- 税10%	
払戻額合計 :	¥3,190-	使用開始日:2026.-2.-7
(現金扱い)		
原券購入日:2026.-1.22		
東日本旅客鉄道(株)(T9011001029597)		
2026.-2.-4 09:50	30122-01	柏駅F1発行

① 調査研究費(№3-10-4)

払戻計算書		
商品名 :	JR乗車券類	1枚
原券金額 :	¥3,170- 税10%	
払戻対象額 :	¥3,170- 税10%	
手数料 :	¥340- 税10%	
払戻額合計 :	¥2,830-	使用開始日:2026.-2.-7
(現金扱い)		
原券購入日:2026.-1.14		
東日本旅客鉄道(株)(T9011001029597)		
2026.-2.-4 09:51	60125-01	柏駅F1発行

納入通知書兼領収書 野田市

登録番号 T4000020122084

住 所	千葉県野田市鶴奉 7 - 1					
氏 名	六諭会 様					
年度	07	会計	一般会計			
款	項	目	節	摘要	予算区分	調定番号
22	04	03	01	077	現年度	07066138
金 額		1,272 円				
		10%対象	1,272円	消費税等	115円	
納期限		令和 8年 3月31日				
内 容	複写機使用料 4～3月分(六諭会)					
取扱課名		議会事務局				
上記のとおり納入してください。						
令和 8年 3月17日		領 収 日 付 印		上記金額を領収しました。		
野田市長 鈴木 有						
収納金融機関						

野 田 市

⑧その他の経費(№ 1)

放送受信料 払込受領証 (金融機関・コンビニ用)	
お客様氏名 野田市議会 様	
お客様番号 249-5891-102	
金額	83703 円
お支払期間 令和 7 年 4 月 ~ 令和 8 年 3 月	
受取人 本証は放送受信料の領収証にかわるもの ですから、大切に保管してください。 日本放送協会	
お問い合わせ先・電話番号 NHK ふれあいセンター 0570-077-077	
領収日附印 (金融機関・CVS記入印紙貼付欄)	
金融機関・CVS—お客様	

NHK受信料 83,703円のうち

六 諭 会 負担分として 11,959円

新製品が安い KS ケーズデンキ

お買上げ明細

2025年 7月15日(火)

14時 6分

(0000096627037)

会員番号

<明細>

1 ●インクカートリッジ 持帰
ブラザー工業
4977766816588 LC417XLM 10%
1点 ¥5,197
10%値引対象

2 ●インクカートリッジ 持帰
ブラザー工業
4977766816571 LC417XLC 10%
1点 ¥5,197
10%値引対象

2点/合計 ¥10,394
税率別内訳 / 課税対象額 10% ¥10,394
(内消費税額 ¥944)

[0111190-011124106-2310008797191]

領収証

2025年 7月15日(火)

14時 6分

野田市議会 大諭会 様

金額 ¥10,394

(内消費税等 ¥944)
税率別内訳 / 課税対象額 10% ¥10,394
(内消費税額 ¥944)

但し、お品代として

上記金額正に領収致しました。

<決済内訳>

現金 ¥10,394
(内消費税等 ¥944)

現金お預かり ¥11,005
お釣り ¥611

登録番号:T6050001000897

株式会社ケーズホールディングス

ケーズデンキ野田泉店

電話番号 04-7129-9161

販売担当者124106

店コード 2200001111905
売上伝票番号 2310008797191

オンライン出張修理受付

↓大型家電の出張修理の申し込みはこちらから↓



発行日:2025年07月15日

領収書

様

管理No.1522-407-0003694
伝票No.1522-407-121527

¥4,985 (内消費税 ¥453)

但しインク

代として。

支払内訳
現金

¥4,985

10%対象

¥4,985(内消費税

¥453)

上記の金額正に領収いたしました。

株式会社ヤマダデンキ
群馬県高崎市栄町1-1
登録番号:12070001036729

※印刷面を内側に折って保管願います。

印紙税 印紙税
付にきり
税務署承認済



B1522407121527B

9002949010 1522406123422 ZZZ
デ-タシュケイ 1:持帰 外10

6930437015 LC417XLY ¥5,250
BRシ-ンセイ 1:持帰 外10 417

会員値引対象(5%) -¥263
9007921011 ALLア-リ-ホ-ン500 ZZZ
カ-スウ-ンテイ 1:持帰 外10

9006108017 カ-イン社-キ-キヨ ZZZ
デ-タシュケイ 1:持帰 外10

会員値引額計 -¥263
小計 ¥4,987

消費税 税込計 ¥5,485
値引 -¥500

ポイント値引 0円
合計 ¥4,985
(内消費税 ¥453)

10%対象 ¥4,985
(内消費税 ¥453)

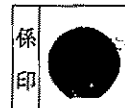
⑧その他の経費(№ 4)

令和7年 12月 19日

領 収 証 野田市議会 六諭会 様 No. 04367

金額									
		4	1	2	2	0	7	8	

上記正に領収いたしました



内 訳

現 金 110980

小切手 /

手 形 /

消費税額等(10%) 11098

消費税額等(%) /

但 フピー用紙代 他



株式会社 ナカホト

千葉県野田市中野台 383 番

TEL. 04 (7125) 559

FAX. 04 (7125) 880

登録番号 T9040001071400

⑧その他の経費(第4-1.)

請求書

野田市議会
六諭会

様

事業者登録番号 T9040001071400

令和07年12月17日

株式会社ナカオサ

〒278-0035 千葉県

取締役社長 仲

TEL: 04-7125-5591

千葉銀行

野田支店

当座 500272

品番	品名	単位	数量	単価	金額
1 1	EPSON トナーカートリッジ LPC3T35K	個	1	17700.	17,700
1 1	EPSON トナーカートリッジ LPC3T35C	個	1	19500.	19,500
1 1	EPSON トナーカートリッジ LPC3T35Y	個	1	19500.	19,500
1 1	EPSON トナーカートリッジ LPC3T35M	個	1	19500.	19,500
1 1	ブラザー インクカートリッジ ブラック LC417XLBK	個	1	5150.	5,150

コード 013606 伝No 095154 - 1/2

[小計]

110,980

(掛) 伝票単位 31日締

1:売上 2:返品

3:商品値引

4:伝票値引

5:その他売上

[消費税等]

11,098

10.00%対象-税抜金額

110980 円

10.00%対象-消費税等

11098 円

[合計額]

122,078

8.00%対象(軽)-税抜金額

0 円

8.00%対象(軽)-消費税等

0 円

請求書

野田市議会
六諭会

様

事業者登録番号 T9040001071400

令和07年12月17日

株式会社ナカオサ

〒278-0035 千葉県

取締役社長 仲

TEL: 04-7125-5591

千葉銀行

野田支店

当座 500272

品番	品名	単位	数量	単価	金額
1 1	ブラザー インクカートリッジ シアン LC417XLC	個	1	6410.	6,410
1 1	ブラザー インクカートリッジ マゼンタ LC417XLM	個	1	6410.	6,410
1 1	ブラザー インクカートリッジ イエロー LC417XLY	個	1	6410.	6,410
1 007573697	コピー用紙 BLANCO A4 500枚入	冊	25	416.	10,400

コード 013606 伝No 095154 - 2/2

[小計]

110,980

(掛) 伝票単位 31日締

1:売上 2:返品

3:商品値引

4:伝票値引

5:その他売上

[消費税等]

11,098

10.00%対象-税抜金額

110980 円

10.00%対象-消費税等

11098 円

[合計額]

122,078

8.00%対象(軽)-税抜金額

0 円

8.00%対象(軽)-消費税等

0 円

新製品が安い K's ケーズデンキ

お買上げ明細

2026年 2月27日(金)

10時53分

---<明細>---

1 OSソフト ・ 持帰
マイクロソフト
4549576190358 Windows 11 Home コレコ 10%
1点 ￥19,360

1点/合計 ￥19,360

税率別内訳 / 課税対象額 10% ￥19,360
(内消費税額 ￥1,760)

[0111190-011123383-2310008040266]

領収証

2026年 2月27日(金)

10時53分

野田駅前 大論会 様

金額 ￥19,360

(内消費税等 ￥1,760)

税率別内訳 / 課税対象額 10% ￥19,360
(内消費税額 ￥1,760)

但し、お品代として

上記金額正に領収致しました。

---<決済内訳>---

現金 ￥19,360
(内消費税等 ￥1,760)

現金お預かり ￥20,000
お釣り ￥640

登録番号:T6050001000897

株式会社ケーズホールディングス

ケーズデンキ野田泉店

電話番号 04-7129-9161

販売担当者123383

店コード 2200001111905
売上伝票番号 2310008040266

オンライン出張修理受付

↓大型家電の出張修理の申し込みはこちらから↓



領収証 野田市議会

No.

六諭会

様

8 年 3 月 3 日

金額

¥ 159,500 -

但 パソコン用 SSD 代とい 上記正に領収いたしました

内

消費税額等(%)

(有)あたご電機

野田市野田 5
TEL (04) 7125-55
FAX (04) 7125-55

現金

カード

HISAGO #N778S(50)入 J648067

登録番号 T3-0400-0209-6600

(先進地視察用)

(別紙5)

令和7年8月25日

野田市議会議長 古橋 敏夫 様

会 派 名 六 諭 会

代表者氏名 竹内 美穂

出張調査報告書

調査のため出張しましたので、その概要を下記のとおり報告します。

記

1 出張者名 古橋 敏夫 染谷 信一 邑樂 等
濱田 勇次 川崎 貴志

2 出張先及び調査事項

福岡県糸島市	移住・定住促進事業について
佐賀県多久市	小中一貫教育、義務教育学校の取組について
長崎県大村市	しあわせ循環コミュニティ事業について

3 出張期間

令和7年7月29日 ～ 令和7年7月31日

4 調査報告

(1) 福岡県糸島市 移住・定住促進事業について

◇糸島市の概要と視察地選択の理由

①市制施行	平成22年1月1日
②人 口	103,984人(46,985世帯)
③面 積	215.69km ²

④視察地選択の理由（市政との関連性）

大都市に近く大学もあり自然も豊かである糸島市の移住・定住促進事業は野田市にとって非常に参考になると考え、視察先を選んだ。

◇ 視察時の状況

①視察時間 午後2時 ～ 午後3時45分

②視察会場 糸島市議会 委員会室

③応対者職氏名

糸島市議会事務局 議事課 主任 赤嶺 尚人 様

糸島市地域振興部 コミュニティ推進課 人口減少地域対策係
係長 札本 真希 様

◇ 調査事項の概要

糸島市では2年から3年ごとに事業見直しをして、一定の目的を達成したものや効果が薄いものは新たな事業と引換えに中止にしている。以下主な事業を挙げる。

1. 定住促進サイト「糸島生活」

・キャッチフレーズは「きっと満足 糸島生活」。移住・定住に関する情報（子育て、教育、生活、交通など）や「移住者の声」、物件情報などを電子書籍形式も含めて提供。市役所やコミュニティセンターでも配布。

2. 空き家バンク

・売却または賃貸したい空き家の情報を市が受け取り、登録・発信する制度。

・利用登録や掲載は無料だが、成約には仲介業者との契約による手数料が必要な場合もある。

・成約実績としては、累計で96件登録、79件が成約し、成約率は約82%と高い。

3. 戸建て住宅ニーズバンク

・令和6年2月より開始された制度。戸建て住宅を探している人が条件を登録、市がそれを発信して所有者とのマッチングを目指す

す。（仲介業者を介した売買または賃貸）

- ・登録料、利用料は無料。

4. 地域コーディネーター制度

- ・市内の複数の小学校区に配置された地域コーディネーターが、移住希望者への相談対応・地域情報の提供・移住後のフォローを行う。（例：生活の実情や地域の人間関係などの疑問にも対応）

5. 就労支援：「きっとみつかる 糸島しごとさがし」

- ・糸島市公式の求人情報サイト。職種、地域、雇用形態で検索可能、企業レポートも閲覧でき、移住前後の仕事探しを支援。

6. 新規就農者支援

- ・市内で農業を始める方に対し、最長5年間、前年所得に応じて資金交付などの支援を行う制度。対象には年齢制限や農地保有などの条件がある。

7. 子育て・医療支援

- ・各地区（前原、二丈、志摩）に子育て支援センターを配置。育児相談や離乳食教室のほか、放課後児童クラブも実施。
- ・病児・病後児保育「コアラ」など共働き家族向け支援。
- ・子ども医療費助成制度：0歳から中学校3年生までの通院・入院費用に対して助成（年齢別に自己負担金あり）

8. 結婚新生活支援金

- ・新婚世帯（夫婦とも39歳以下）を対象に、住宅取得・改修・賃貸・引越費用に対し最大30万円、さらに夫婦とも29歳以下の場合には最大60万円が支給される制度。

9. 移住体験やバスツアーなど体験型支援

- ・平成29～31年度の基本計画プロジェクトとして、以下のような取組を実施した。

(ア) トライアルステイ「いとしまちちょっと暮らし」・バスツアーなど、地域体験を通じて移住への関心を強化

(イ) U・I・J ターン相談会や情報発信強化、定住コーディネート事業、

公的広告によるプロモーションなども含む。

◇ 所 見（市政の課題等に対する実現可能性等）

糸島市は、福岡中心部まで約30分の距離で、平成22年1月に1市2町が合併し誕生、合併後人口が減ってきたことから、2013年度に定住促進の担当部署を新設して、移住・定住を促進して地域を活性化する目的で事業を始めた。2016年以降は人口が増加傾向にあり、毎年過去最高人口を更新している。

まず、住まいに関する支援としては糸島市では、空き家バンク制度で、市が空き家を売りたい・貸したい所有者から情報提供を受け、移住を希望する方へ情報を提供しているほか、空き家バンクに加えて、令和6年2月から戸建て住宅を求めている人と、戸建て住宅の所有者をつなぐ「糸島市戸建て住宅ニーズバンク」の運用も開始している。また、過去には、糸島市で住宅を新築または売買で取得した人を対象に、最大2年間、建物の固定資産税相当額を商品券で交付する制度があった。

次に仕事に関する支援としては、糸島市の公式の就職支援サイトで、市内の企業と仕事を探している人のマッチングをサポートしており、求人情報、就職支援イベントの情報などが掲載されている。また、移住先で新規事業を始める方を対象に、店舗や事務所のリフォーム費用の一部を（最大50万円）を補助する「新規起業応援事業補助事業」も行っていたが、現在は「がんばる中小企業応援事業補助事業」や商工会による「地域循環型創業支援補助事業」などを行っている。そして、新規就農し5年以内の方を対象に、農地の賃借料、農業用機械の賃借料、人材雇用に係る人件費等に上限10万円、農業機械の施設の購入・改修費用に上限50万円の補助をする「農業経営持続化支援事業補助金」もあり、農業に関心を持つ若者が、市内の受け入れ農家で農業研修を行い、未来のファーマーを育成する「農業研修生を受け入れるまちづくり事業」も行っている。

次に子育て・その他の支援としては、糸島市を3地区に分けそれぞ

れに子育て支援センターを設置して、子どもだけでなく保護者同士の交流の場として活用されている。また、一定の要件を満たす新婚夫婦に、最大60万円の補助金が給付される「結婚新生活支援金」や、定住促進サイト「糸島生活」で移住・定住支援に関する施策や先輩移住者の声、地域の情報などが提供され、オンラインによる相談も行われている。

糸島市では、どんな事業においてもその担当課又は担当係が、その事業の効果検証を2～3年の短いスパンで行い、補助金制度の後追いはせず、その事業の継続、変更、廃止、次の事業への展開等への対処が早いことが、職員の高いモチベーションや予算の節約、費用対効果に良い結果をもたらしている。野田市でも同等の事業を行っているが、効果検証が甘いがために、効果の薄い事業を何年も続けることで、今必要な事業、将来の対処のための事業に必要な予算が取れない等の課題があると思われる。よって、野田市でも、やがて訪れる人口減少時代に備えて、PR推進室、都市部、自然経済推進部から移住・定住に特化した部署を設立する必要性も感じた。



(2) 佐賀県多久市 小中一貫教育、義務教育学校の取組について

◇ 多久市の概要と視察地選択の理由

①市制施行 昭和29年5月1日

②人 口 17,370人 (7,881世帯)

③面 積 96.56km²

④視察地選択の理由 (市政との関連性)

人口は異なるが野田市の国道16号の東側の小中学校の状況を考えると非常に参考になると考え選定した。加えて、多久市内は小学校7校と中学校3校を平成25年度に3つの小中一貫校3校に再編、さらに平成29年度に義務教育学校3校へと移行していくその過程や成果、課題などが、野田市においても福田中学校区において義務教育学校の導入が進められていることもあり、非常に参考になると考え、多久市を視察地として選択した。

◇ 視察時の状況

①視察時間 午前10時 ～ 午前11時50分

②視察会場 多久市議会 第3会議室

③応対者職氏名 多久市議会 議長 野北 悟 様

多久市議会事務局 議事係

係長 古賀健太郎 様

多久市教育委員会 学校教育課

課長 冨永 千晶 様

課長補佐(兼)企画係長 渡島 徹 様

指導主事 森 様

◇ 調査事項の概要

この取組は平成17～21年度の第7次行政改革大綱の少子化による教育活動への影響(複式学級等の解消)に端を発して「教育委員会重点施策推進検討会」を設置、翌平成18年には「多久市立学校適正規模・適正配置委員会」を設置し12回実施の後、平成22年に最終答申を提出した。並行して平成18～23年に各地区、各PTA・育友会、保護者へ

の説明会・意見交換会を実施した。反対意見も多い中、教育長、市長も粘り強く説明に説得に奔走して回った。平成21～25年には定例議会
で校舎新設に関する審議なども重ねられ実施された。

複式学級を解消することがきっかけであったが、単純な学校の統廃
合ではなく新しい魅力のある取組をと考え、小学校7校と中学校3校
を平成25年度に、3つの小中一貫校3校に再編、さらに義務教育学校
とした。

3校の再編の詳細は、平成25年度に北部小学校、緑が丘小学校、南
部小学校を再編し中央小学校新築、小中一貫校となる中央小学校・中
央中学校が開校、さらに平成29年度に義務教育学校「東原庫舎中央
校」が開校した。同様に平成25年度に西部小学校と中部小学校を西溪
小学校に再編し、西溪中学校と小中一貫校となる西溪小学校・西溪中
学校が開校、さらに平成29年度に義務教育学校「東原庫舎西溪校」が
開校した。同じく平成25年度に東部小学校と納所小学校を東部小学校
に再編し東部中学校と小中一貫校となる東部小学校・東部中学校が開
校、平成29年度に義務教育学校「東原庫舎東部校」が開校と10校が最
終的に3校となる思いきった再編を行った。

義務教育学校は、多久市の教育の特徴ともいえる多久学（ふるさと
学習や論語の学び）を柱として、低学年（1～4年）は学習の基礎・定
着を、中学年（5～7年）は学習の充実・深化を、高学年（8～9年）
は進路選択、学習の発展・活用とする「4-3-2制」となっており、
職員体制は、校長1名、副校長1名、教頭2名、養護教諭2名、事務
職員2名（中央校は3名）、ICT支援員4名が配置されている。

学校跡地の活用状況は「多久市立学校適正規模・適正配置検討委員
会」の最終答申では、「廃校になる校舎や施設の再利用・有効利用
を、市民とともに検討し、利用者が絶えない、笑顔に満ちた活動等の
拠点となる施設を実現するよう努めること」とされており、具体的活
用例として

①児童と地域のふれあい館

②地域防災センターや緊急災害時用資材等の備蓄設備

③生涯学習センター施設

④滞在型宿泊施設(スポーツ関係合宿にも利用可)

⑤図書館、美術館

などがあげられおり、下記のように利活用されている。

利活用の状況(令和5年11月現在)

旧学校名	校舎等	体育館	運動場	プール
南部小学校	福祉施設への貸付 (障害者支援センターまや)	社会体育施設 (社会体育館)	社会体育施設 (運動ひろば)	解体後、施設のハウス
東部小学校	1F:放課後児童クラブ 1~3F:市役所倉庫	社会体育施設 (社会体育館)	社会体育施設 (運動ひろば)	学校利用(小学校用プール)
納所小学校	市民活動・協働の場(納所交流センター)	社会体育施設 (社会体育館)	社会体育施設 (運動ひろば)	解体後、運動場駐車場
西部小学校	解体後、屋外WC、相撲場、屋外レクリエーション施設、倉庫を新設	社会体育施設 (社会体育館)	解体後、人工芝の多目的グラウンドとして整備(H28)	解体後、人工芝の多目的グラウンドとして整備(H28)
北部小学校	子ども・子育てセンターとして改修(H28)	社会体育施設 (社会体育館)	社会体育施設 (公民館R5)	解体後、体育館駐車場として整備(H28)
緑が丘小学校	弓道場(R4)	社会体育施設 (社会体育館)	社会体育施設 (運動ひろば)	弓道場(R4)

◇ 所 見(市政の課題等に対する実現可能性等)

多久市は、小中一貫教育に平成25年度から取り組んでおり、平成29年4月1日からは、これまでの小中一貫校3校を「義務教育学校」へと移行させた。多久市の小中一貫教育、特に義務教育学校への移行は、子どもたちの「豊かな学び」と「恕の心(思いやり)」の育成を目指しており、義務教育9年間を以下の3つの期間に分けて、連続性と系統性を重視した教育実践が行われている。

・前期(1~4年生): 学びの習慣化【基礎期】

・中期(5~7年生): 学びの定着・発展【充実期】

・後期(8~9年生): 自己学習力の形成【発展期】

また、小中一貫校ならではの取組としては、異学年交流が日常的に行われており、例えば、9年生が5年生に「いのちの授業」を行うなど、年上の生徒が年下の生徒をサポートすることで、自己有用感の醸成や思いやりの心の育成につながっている。また、教職員も小中学校の違いを理解し、互いの指導法を学び合うことで、指導力や意識の向上が図られている。

教育面でのメリットとしては、①学力向上：児童生徒の学力向上に加え、学年が上がるにつれて学力が見られる。②中1ギャップの解消：小学校から中学校への進学に伴う生徒の負担が軽減され、「中1ギャップ」がほとんどない。③特色ある学校づくり：地域性を生かした特色ある教育の推進が可能になった。

小中一貫教育のデメリットとしては、①節目意識の希薄化：小学校の卒業という節目がなくなるため、新たな気持ちの切り替えや進学する充実感が薄れる可能性がある。②人間関係の固定化：9年間という長期間同じ環境で過ごすため、友人関係がこじれた場合などリセットしにくく、人間関係の固定化によるストレスやいじめ・不登校への発展が懸念される。③リーダーシップ発揮の機会の減少：中学生がいる環境では、小学校高学年の児童の自主性や積極性が育ちにくくなる可能性がある。④転入・転校・受験対応の困難さ：学校独自のカリキュラムが組まれるため、転入・転校する児童生徒が環境に適応しにくい場合がある。また、中学校受験などへの対応が難しくなることも課題である。

教職員への影響としては、①業務量の増大：小学校と中学校の教員が連携するための打ち合わせや合同研修が増えるため、教職員の負担が増大する可能性がある。②組織文化の違いの調整：小学校と中学校では組織文化や習慣が大きく異なるため、その調整に時間がかかることがある。これらの課題に対しては、異学年交流の在り方や教職員の連携体制の工夫、また学校行事の柔軟な設定などで対応が図られている。

野田市でも、学校適正規模・適正配置の在り方について、福田地区だけでなく、関宿地区、東部地区、川間地区等早期に地域と考えるいとならない時期に来ており、早期に各々の検討委員会を立ち上げ、地域住民とのきめ細かな話し合いと理解が必要である。また、閉校になった校舎の利用法についても、地域住民と検討し、利用者の絶えない、笑顔に満ちた活動拠点となる施設に変えていかなければならない。



(3) 長崎県大村市 しあわせ循環コミュニティ事業について

◇大村市の概要と視察地選択の理由

①市制施行 昭和17年2月11日

②人口 99,485人(47,098世帯)

③面積 126.73km²

④視察地選択の理由(市政との関連性)

大村市は、空港・高速道路・新幹線が揃いアクセス至便性が高く、子育て世帯をはじめとした方に選ばれ、人口増加を続けている。一方で、若い世代の転入を中心とした人口の増加や生活様式の多様化に伴い、町内会や子供会などへの参加意識が薄れ、人と人、人とまちのつながりが希薄化するなど、無縁社会の静かな広がりが生じている。

このような状況下で、地域共助事業や子育て支援事業、デジタルインフラ整備事業において、マイナンバーカードをトラストアンカーとした信頼と感謝の可視化基盤の構築により「信頼できる」「知っている」「助け合う」コミュニティの創出に努めている。

野田市としても、少子高齢化や地域社会の変化による人間関係の希薄化や地域相互の助け合いの弱まり、生活困窮者の増加、地域防災機能の低下など、多様化した様々な課題が顕在化、深刻化しつつあり、大村市の地域共助事業や子育て支援事業、デジタルインフラ整備事業を通じた「しあわせ循環コミュニティ事業」を参考とし、課題解決に向けて視察地とした。

◇視察時の状況

①視察時間 午前10時 ～ 午前11時30分

②視察会場 大村市議会第一会議室

③応対者職氏名 大村市議会 副議長 松尾 祥秀 様

大村市議会事務局 議事調査グループ

書記 田中 成龍 様

大村市企画制作部 デジタル推進課

課長 東 賢一 様

◇ 調査事項の概要

この事業の大村市の背景としては、交通網のアクセス至便性が高く、子育て世帯をはじめとした方に選ばれ、人口増加が続けている。一方で、若い世代の転入を中心とした人口の増加や生活様式の多様化に伴い、町内会や子供会などへの参加意識が薄れ、人と人、人とまちのつながりが希薄化するなど、無縁社会の静かな広がりが生じている。

この課題解決として、しあわせ循環コミュニティ事業は、軸となる事業として、地域共助事業、子育て支援事業、デジタルインフラ事業を展開している。

各々の内容の解説としては、

1. 地域共助事業

助けが必要な方は「おねがい市民」として、助けてほしい内容や日時を入力し、手助けできる方は「まかせて市民」として、持っているスキルやできること、対応が可能な日時を入力。その後、「おねがい市民」の依頼内容と条件の合う「まかせて市民」をポータルアプリ「おむすび。」を介し、オペレーションセンターがつなぎ、「おおむらID」（マイナンバーカード認証によるデジタルID）を使って本人確認し、マッチングする。「助け合いペア」を作ることで、実際のお願いごとを解決する事業。依頼は草刈りや話し相手、外出支援などから選ぶことができ、「おねがい市民」は、感謝の気持ちとして、15分の作業につきデジタル地域通貨「ゆでび」を、「まかせて市民」に送る仕組みである。

2. 子育て支援事業

アプリを通じ、妊娠・出産・子育て関連情報や各種手続き、相談、予約機能を提供し、マイナンバーを活用した子ども医療費受給資格確認や「子育てクーポン」として「ゆでび」を活用し、使いやすさや支援の利便性を高めている。

3. デジタルインフラ整備事業

共助の循環による強固な地域コミュニティ形成の礎とし、サービス提供者である官民連携団体「CONNECT」を設立し、この団体によるデジタルサービスの基盤として、マイナンバーカードをトラストアンカーとした「おおむらID」を構築している。また、デジタルの恩恵をスマホ世代に限らず誰もが享受できるようにテレビを活用したデジタルデバイド対応（遠隔デジタル窓口）を進めている。

以上の事業を主軸とし、地域コミュニティ形成の礎とする要素として、

①ポータルアプリ「おむすび。」

地域情報、助け合い機能、子育て支援、防災情報、公共施設の予約等、幅広く便利な機能を活用している。

②デジタル地域通貨「ゆでぴ」

一般的に使われているQR決済の電子マネーと同じ仕組みで、銀行口座やコンビニエンスストアのATMからコインをチャージし、市内の加盟店での決済に利用できる。利用者間でコインを送ることや、市からポイントを付与することも可能。また、チャージポイント、「地域助け合いサービス」のお礼、市や加盟店独自の還元キャンペーン、「子育て支援サービス」の出産子育て応援交付金、清掃活動やボランティア参加のお礼にも利用できる。

③「めぶくID」データ連携

「共通ID認証」と「非パーソナルデータのデータ連携」・「ダイナミックオプトイン（本人同意）に基づくパーソナルデータのデータ連携」の双方に対応したデータ連携基盤を進めている。

◇ 所 見（市政の課題等に対する実現可能性等）

大村市しあわせ循環コミュニティ事業は、デジタル技術を活用して市民同士や市民と地域のつながりを強化し、全ての市民が協力し合い支え合うコミュニティを目指すプロジェクトで、人口増加に伴う希薄化する地域のつながりという課題解決を目的としている。事業の継続的な運営のために、地元民間企業や商工会議所とも連携しており、官

民連携会社「CONNECT」が中心的な役割を担っている。この事業の中心となるのは、「おむすび。」で、このアプリを通じて、以下のような多彩なサービスが提供されている。

①子育て支援サービス：子育てに関する情報収集や子ども成長記録、マイナンバーカードを活用した子ども医療費受給資格確認など、子育て世帯をサポートする。

②地域助け合いサービス：地域での助け合いを促進し、身近な困りごとを解決する仕組みである。

③デジタル地域通貨「ゆでぴ」：イベントやボランティア活動などで得たポイントを市内の加盟店舗で利用できる仕組みで、地域内の経済循環も促す。

④ほっこりコミュニティ：市民と行政が交流し、まちづくりに市民が参加できるプラットフォーム。

⑤公共施設予約システム：公共施設の貸し出し手続きをデジタル化し、利便性を向上させる。

⑥防災情報配信：災害情報の迅速な共有を可能にする。
また、大村市のしあわせ循環コミュニティ事業は、デジタル技術を活用することで、多くのメリットを生み出している。

特筆すべきは、1点目として、持続可能な事業とするために、「産学官金連携」を以て、特に金融機関との連携が不可欠だったことであり、それぞれの課題を相互補完し、適切なガバナンスの基で事業を持続可能にしている点である。2点目として、デジタルは、あくまでも手段であって、サービスを提供し利用する相互が、直接に「つながる」「支え合う」「知り合う」の共助の精神がなければ成り立たない点である。3点目として、加盟店で買い物をするときは、デジタル地域通貨「ゆでぴ」やポイントも利用でき、地区という枠を超えたデジタル時代の人と人のつながりを可能にしている点である。

一方、大村市と同様な全国的な主な課題として、「デジタルデバイド（インターネットをはじめとする情報通信技術を使える人と使えない

い人の間に生じる格差のこと)」と呼ばれる情報格差が上げられる。

以上のことより、野田市としては、この情報格差を解決しながら、少子高齢化や地域社会の変化の状況で、自治会加入者の減少、人・人とまちの繋がり希薄化、増加する外国人とのコミュニケーション問題等の課題を抱えている中、太田市しあわせ循環コミュニティ事業が、地域住民参加型の新たなコミュニティの在り方として大変参考になった。



(先進地視察用)

(別紙5)

令和8年2月10日

野田市議会議長 古橋 敏夫 様

会 派 名 六 諭 会

代表者氏名 竹内 美穂

出張調査報告書

調査のため出張しましたので、その概要を下記のとおり報告します。

記

- 1 出張者名 竹内 美穂 古橋 敏夫 染谷 信一
 邑樂 等 濱田 勇次 川崎 貴志
- 2 出張先及び調査事項
千葉県流山市 流山市消防本部・中央消防署庁舎について

3 出張期間

令和8年1月21日

4 調査報告

(1) 千葉県流山市 流山市消防本部・中央消防署庁舎について

◇流山市の概要と視察地選択の理由

①市制施行 昭和42年1月1日

②人 口 210,733人(93,991世帯)

③面 積 35.32km²

④視察地選択の理由(市政との関連性)

隣りの市でもある流山市の流山市消防本部・中央消防署庁舎につい

て、その建設までの計画や竣工までの過程、現在の運営状況は野田市にとって、非常に参考になると考え視察先を選んだ。

◇ 視察時の状況

①視察時間 午前10時 ～ 午前11時45分

②視察会場 流山市消防本部・中央消防署
多目的室及び庁舎内各所

③応対者職氏名 流山市消防本部 消防長 須藤 恭成 氏
消防総務課 課長 石山 泰司 氏
課長補佐 寺島 勝 氏

◇ 調査事項の概要

消防本部・中央消防署の建物は 昭和49年（1974年）竣工 で、築50年以上経過しており、施設の老朽化や手狭さが課題になっていた。

加えて流山市の人口が20万人を超え、救急・消防出動件数が増える中で、災害対応力の強化・消防力の増強が求められ、消防本部・中央消防署を移転・新築するプロジェクトが流山市総合計画実施計画にも位置付けられ、庁舎建設事業が進められた。

令和2～5年度にかけて設計業務委託が実施され、石本建築事務所が担当した。令和5年（2023年）7月には、建設工事の工事監理業務委託契約が締結され、令和5年（2023年）8月に起工式が執り行われ、庁舎棟や訓練棟の建設が開始された。建設地は約4,900㎡の敷地で、消防本部・中央消防署の機能を一体化する庁舎で、地下免震構造を採用し、地震などの緊急時でも業務を継続できる強固な設備を備え、自家発電設備や自家用給油設備（燃料備蓄）など、96時間以上の機能維持を想定した自立型インフラが整備されている。訓練用スペースや設備の更新、隊員の動線改善、防災拠点としての機能強化も図られている。

このように新庁舎は免震構造や自立型設備の導入により災害時の対応力を高めるとともに、隊員の訓練環境や市民サービスの向上も図っている。流山市の安全・安心を支える中核施設として、令和7年

(2025年) 6月23日から稼働している。

◇ 所 見（市政の課題等に対する実現可能性等）

流山市消防庁舎は、「災害対応力の強化」「職員の働きやすさ」「市民への開かれた防災拠点」という三点を高い次元で具現化した施設であると感じた。

まず、免震構造や非常用電源、通信設備の多重化など、大規模災害時にも機能を維持できる設計が随所に見られ、指令・出動・後方支援が一体的に行える動線計画は、初動対応の迅速化に大きく寄与するものと評価できる。また、女性職員や若手職員の増加を見据えた仮眠室、トイレ、シャワー室、洗濯脱衣所等の配置、環境や訓練スペースの充実など職員の健康管理や人材確保の観点が十分に反映されている。さらに、市民向けの防災学習スペースや見学動線の確保により、平時から市民が防災を「自分ごと」として考える機会を創出している点は、今後の地域防災向上において極めて重要である。

また、財源について流山市は、寄付金以外は、市の一般財源で建設しているが、野田市は、財源面に課題があるため、総額を複数年に渡り予算化しても良いが、他には、市債を発行して、長期的に財政負担を分散するやり方もあるし、また、国から地方交付税や特定事業に対する緊急防災・減災事業債といった制度、さらに国や県で設けている防災関連補助制度、例えば、防災力強化交付金や災害対応施設整備交付金を活用することも検討したい。

また同時に、役目を終えた既存施設や庁舎敷地等の資産売却益を充当することも必要である。いずれにしろ、建て替え事業は、すぐにはできないため、ファシリティマネジメントという視点を持って従前から他事業との優先順位を付けた計画が必要不可欠である。

野田市においても、今後の消防・防災施設整備を検討するにあたり財源面も含め、単なる庁舎建て替えにとどまらず、「災害に強い都市づくり」「人材が集まる職場環境」「市民と築く防災」といった視点を取り入れる必要性を強く認識した視察であった。



(先進地視察用)

(別紙 5)

令和 8 年 2 月 2 6 日

野田市議会議長 古橋 敏夫 様

会 派 名 六 諭 会

代表者氏名 竹内 美穂

出張調査報告書

調査のため出張しましたので、その概要を下記のとおり報告します。

記

1 出張者名 竹内 美穂 染谷 信一 邑樂 等
濱田 勇次 川崎 貴志

2 出張先及び調査事項

- ①福井県福井市 重層的支援体制整備事業について
- ②富山県氷見市 氷見市芸術文化館について
- ③長野県須坂市 須坂長野東インターチェンジ周辺地区開発について
- ④国土交通省 関東地方整備局 長野国道事務所
自然災害の対策について

3 出張期間

令和 8 年 2 月 4 日 ～ 令和 8 年 2 月 7 日

4 調査報告

(1) 福井県福井市 重層的支援体制整備事業について

◇福井市の概要と視察地選択の理由

.....①市制施行.....明治22年 4 月 1 日.....

.....②人 口.....255,949人(107,679世帯).....

③面 積 536.37km²

④視察地選択の理由（市政との関連性）

野田市での重層的支援体制整備事業との違いなど、参考にしたい先進的な事項が多いため選択した。

◇ 視察時の状況

①視察時間 午後 2 時 ～ 午後 3 時30分

②視察会場 福井市議会 委員会室

③応対者職氏名

福井市議会事務局 庶務課 主幹 鹿田 直樹 様

福井市 福祉健康部 福祉政策課 福祉総合相談室よりそい

室長 田中 あい 様

主幹 岡島 雅典 様

◇ 調査事項の概要

重層的支援体制整備事業 は、令和 3 年度の社会福祉法改正で新設された制度で、市町村が実施主体であり、従来の分野別支援（高齢・障がい・子ども・生活困窮など）だけでは対応が難しい、複雑・多様な生活課題を抱える人々への支援体制を整えることが目的である。

福井市では地域共生社会の実現を目指し、令和 5 年度から本格的に事業を実施しているが、この事業は、以下の 3 つの支援を一体的に提供することで、誰もが地域で安心して暮らせる基盤づくりを目指している。

① 包括的相談支援

相談者の年齢・属性・課題内容を問わず、幅広い相談を受け止め、抱える困難を整理・調整しながら支援につなげる。

・既存の相談支援（高齢・障がい・子供・生活困窮）を一体化

・関係機関と連携した支援会議の開催

・ひきこもりなど制度の狭間の課題にもアウトリーチで対応

② 参加支援

障がい者や社会参加が必要な人に対して、就労体験、ボランティア

活動、地域資源の活用などを通じて社会とのつながりを支援。

③ 地域づくり支援

住民同士の交流の場や居場所づくり、地域ネットワークづくりなど、地域ぐるみで支え合う仕組みの整備。

本事業の実施体制として、福井市では、相談の受け皿として「福祉総合相談室よりそい」を中心に、関係部署・機関と協働して支援体制を構築している。令和7年度以降は、地域共生社会推進の評価・進捗管理も計画的に進めているが、以下の項目の評価が高い。

- ・ワンストップ相談窓口の強化（分野横断で受け止める体制づくり）
- ・庁内連携の仕組み化（個別ケース会議だけでなく、制度設計レベルでの横断連携）
- ・地域との協働（社会福祉協議会、地域包括支援センター、NPO等との連携）
- ・アウトリーチの強化（相談に来られない世帯への訪問支援）

◇ 所 見（市政の課題等に対する実現可能性等）

かつて日本社会を特徴づけていた社会の在り方が変わり、それに伴って国民生活も変化する中で、様々な支援ニーズとして表れてきている。そして、これまでの福祉政策が整備してきた、子供・障がい者・高齢者・生活困窮者といった対象者ごとの支援体制だけでは、人々が持つ様々なニーズへの対応が困難になっている。

重層的支援体制整備事業の概要に関しては、包括的相談支援事業として、福祉総合相談室を中心に、福祉の総合的な相談を実施し、「多機関協働会議」の名称で、重層的支援会議及び、支援会議を実施しており、包括的相談支援体制イメージが図られており、網羅的全体的な構想としていることが参考になった。

また、地域づくり事業では、地域づくりを専門に行う地域づくりコーディネーターを配置し、既存の集いの場を活用した、地域住民の交流の場づくりを行っており、その概要と取組が参考になった。

以上を通して、福井市の事例から学んだ最大の点は、「制度の隙間

から落ちる人を支援する側がどう拾いに行くか」という姿勢である。

本市においては、厚生労働省の的確な社会状況の考察や福井市の福祉の課題や分析と同様であり、先行事例を参考に早急に重層的支援体制整備事業の概要を煮詰め、包括的な支援体制を構築すべきであると



(2) 富山県氷見市 氷見市芸術文化館について

◇ 氷見市の概要と視察地選択の理由

- ①市制施行 昭和27年 8 月 1 日
- ②人 口 43,205人 (17,446世帯)
- ③面 積 230.54km²
- ④視察地選択の理由 (市政との関連性)
- 野田市における鈴木貫太郎博物館や駅前開発の参考になる事例であるため視察先として選択した。

◇ 視察時の状況

- ①視察時間 午前10時 ~ 午後 0 時
- ②視察会場 氷見市芸術文化館 スタジオ 1
- ③応対者職氏名 氷見市議会事務局 次長補佐 山崎 雅朗 様
- 氷見市 文化振興課 課長 小谷 超 様
- 一般財団法人 氷見市文化振興財団 総務部
- 総務管理グループ 総務部長 田嶋 友亮 様

◇ 調査事項の概要

氷見市芸術文化館は、富山県氷見市にある芸術・文化の発信拠点で、地域の文化活動や催しを行う多目的ホールとして、市民や観光客に親しまれている。

氷見市芸術文化館の中心となるホールは、シューボックス型で優れた音響性能を誇り、最大約800席を収容できる大きなスペースで、コンサート、演劇、講演会、パーティーなど幅広いイベントに対応して、客席段床の基本タイプ、スラストステージ、アリーナステージ、平土間タイプと、座席は可動式になっており、演目や用途に応じてレイアウト変更が可能になっている。浸水災害対策として高さ5メートルのピロティ方式としホールを2階に設置した。青空広場は外回廊や青空広場を客席として大階段を野外ステージにした利用も可能で、サークスを開催した実績もある。

駐車場はホールが800席であることから400台を基準に設計した。

建設費は44億9,500万円、備品購入等を含めた事業全体では51億9,820万1千円。財源は都市構造再編集中支援事業（国土交通省1/2補助）が15億8,380万2千円、二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金（環境省2/3補助）4億2,142万7千円、過疎対策債27億7,260万円、基金1億9,463万7千円となっている。

運営は指定管理者である一般財団法人氷見市文化振興財団となっている。地域主催や招致公演など多彩な催しを開催している。演劇、音楽コンサート、展示会、ワークショップなど、各種イベントが年間を通じて企画されている。年間稼働率も74%を超えている。

◇ 所 見（市政の課題等に対する実現可能性等）

氷見市芸術文化館は、単なるホールではなく市民交流拠点＋文化創造拠点となっており、稼働率を高めるための多目的設計もあり高稼働率をキープしている。

野田市においても現在鈴木貫太郎記念館再建を目指し都市構造再編集中支援事業補助金を活用するため立地適正化計画を作成し着々と資金集めを始めようとしているが、記念館の設計段階でこのような一粒で一度二度おいしい芸術文化館のような建築設計に出会えていたらといささか残念に思う次第である。

加えて完成後も多岐にわたる利用ができるような専門的な人材の登用をしっかりと求めていきたいと思うのは私たちだけではないだろう。

最後に芸術文化の発展や学びや遊びの場所、機会の提供は行政と企業、関連団体などが連携して支援に取り組むことが重要であり、地域ぐるみの核となる施設の存在と運営に長けた人材は欠くことのできないものである。



(3) 長野県須坂市 須坂長野東インターチェンジ周辺地区開発について

◇ 須坂市の概要と視察地選択の理由

- ①市制施行 昭和29年4月1日
- ②人口 49,582人(20,665世帯)
- ③面積 149.67km²
- ④視察地選択の理由(市政との関連性)
- 野田市においては千葉北西連絡道路の起点となる計画が進められており、インターチェンジ周辺地区開発が重要となるためその参考にしたい。

◇ 視察時の状況

- ①視察時間 午前10時 ～ 午前11時30分
- ②視察会場 須坂市議会第4委員会室
- ③応対者職氏名 須坂市議会事務局 事務局長 北堀 智 様
- 須坂市まちづくり推進部 まちづくり課
- 課長補佐兼都市計画係長 神林 久雄 様
- まちづくり産業調整専門官 滝沢 健一 様
- 須坂市 産業振興部 産業連携開発課
- 課長補佐兼工業係長 北村 貴志 様
- 工業係 主査 今西 裕香 様

◇ 調査事項の概要

- 須坂市では、1993年(平成5年)3月25日に開通した上信越自動車道「須坂長野東インターチェンジ」周辺を、産業・物流・雇用創出の拠点として位置づけ、計画的な土地利用転換を進めてきた。
- 主な特徴は以下のとおり。
- (1) 高速道路IC直結という広域交通の優位性
- (2) 農地が多い地域での計画的な産業用地整備
- (3) 民間投資(ものづくり産業、観光集客施設等)を呼び込む開発手法

須坂市が活用した地域未来投資促進法（2017年施行）は、地方自治体が主体となり、地域経済を牽引する事業を重点的に支援する仕組みであるが、（株）長工が商業施設などの計画を立案し須坂市と共同して進められた。

① 「長野地域基本計画」「須坂市地域基本計画」の策定

須坂市が長野県と連携し、インターチェンジ周辺開発を「地域経済を牽引する事業」として位置づけ国の同意を得た上で、（株）長工が地域経済牽引計画を県に申請し、承認を受ける。

② 規制緩和・手続きの迅速化

農地転用や開発許可についてワンストップ・迅速化を図り、立地企業にとって「時間コストの削減」が大きな魅力となる。

③ 支援措置の活用

固定資産税の課税特例や設備投資への補助制度を導入し、インフラ整備との一体的推進

これにより、自治体単独では難しいスピード感と規模の開発が可能となった。

◇ 所 見（市政の課題等に対する実現可能性等）

本事業は様々な困難を克服しながら粘り強く地域未来投資促進法を活用して、須坂市と（株）長工がタッグを組んで実現にこぎ着けている。

今回の視察で感じたことは、「開発ありき」ではなく「産業政策ありき」である。先にどんな産業を呼び込み、どんな雇用を生むかを明確化し、そのための土地利用・制度設計を行うことが重要である。インターチェンジ周辺という立地を最大限に活かし、首都圏近郊自治体とも連携しながら、物流・製造・研究機能との親和性の高さを強みとして参加企業の誘致を図っている。

加えて、国の制度を「使いこなす」自治体能力も重要である。地域未来投資促進法は申請すれば自動的に進む制度ではない。県・国・民間との調整力が成功の鍵であり、須坂市の粘り強さや気概は見習いた

いと感じた。

野田市への応用を考えると、千葉北西連絡道路の実現や野田市近隣のインターチェンジ周辺（常磐道・圏央道）との関連で、地域経済牽引事業に該当しうる分野は何か、野田市の特色を生かした、野田市ならではのといえる「売り」は何か、農地・市街化調整区域をどう戦略的に位置づけるか、単なる物流集積で終わらせず、雇用・税収・地域循環にどう結びつけるか、などなど検討して行かないとならない課題は山積である。

①野田市で牽引事業者になり得る民間主体は誰か

②野田市はその主体にどこまで関与し、どこで任せるのか

③企業誘致において「来てほしい企業像」を明確にしているか

これは単なる開発論ではなく、産業政策そのものの議論でもあり、野田市において将来の世代へ残せる価値ある、夢のある開発につなげで行きたい。



(4) 国土交通省 関東地方整備局 長野国道事務所 自然災害の対策について

◇国土交通省 関東地方整備局 長野国道事務所の概要と視察地選択の理由

①事業概要

＜改築事業＞

・国道18号上田バイパス（延伸）における、調査設計、用地買収、改良工事、橋梁上部工事、歩道橋工事の推進

・国道19号長野19号防災における、調査設計、改良工事、トンネル工事の推進

・国道20号下諏訪岡谷バイパスにおける、調査設計、用地買収、改良工事、橋梁下部工事の推進

・国道158号奈川渡改良における、調査設計、改良工事、トンネル工事の推進

＜交通安全事業＞

・国道20号諏訪市四賀桑原交差点における、新たな交差点改良事業着手

＜電線共同溝事業＞

・国道18号青木島町電線共同溝等の電線共同溝整備事業の推進

＜道路調査＞

・中部横断自動車道 長坂～八千穂について、事業化に向け、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を実施

②視察地選択の理由（市政との関連性）

今回の視察では「重層的支援体制整備事業」（福井県福井市）、
「氷見市芸術文化館」（富山県氷見市）、「須坂長野東インターチェンジ周辺地区開発」（長野県須坂市）での調査を行った。その最後の訪問地（長野県須坂市）に隣接する長野県長野市に「国土交通省 関東地方整備局 長野国道事務所」があり、そこで勤務する小田川 豊事務所長は令和5～6年度にかけて野田市建設局長を務められ、当時、

自然災害対応（地震、降雨、強風等）において熱心に取り組んでいたことから、国及び市での行政経験を踏まえた「自然災害の対策について」ご教示いただいた。

◇ 視察時の状況

①視察時間 午前10時 ～ 午前11時30分

②視察会場 国土交通省 関東地方整備局 長野国道事務所

③応対者職氏名 長野国道事務所長 小田川 豊 様

◇ 調査事項の概要

現在、国が中心となって千葉県北西地域での道路問題の解決策として「千葉北西連絡道路」の検討が進められており、詳細な計画（都市計画）を定める前に、まずは概略ルート・構造を示した概略計画を定めることとしている（構想段階）。

千葉北西連絡道路は、核都市広域幹線道路の機能を兼ね備えた高規格道路として調査中の道路である。新たな環状方向の道路網の形成により、業務核都市間や他の地域等との連結性を強化する観点から概略計画の検討（概略ルート・構造）を進めることを目的に、地元検討会を設立（令和6年2月）して検討が進められている。

千葉北西連絡道路の整備効果としては、交通渋滞の緩和、交通事故の減少、地域活性化などの他、防災機能強化が掲げられている。

野田市は周囲を河川（利根川、江戸川、利根運河）に囲まれ、一度大水害に見舞われると多くの地域で浸水するリスクを抱えている。このため災害発生時には、救命・救急活動や緊急物資の搬入などに活用されるインフラとして道路が必要不可欠である。令和元年の台風19号の影響による洪水調整により、田中調節池（柏市）内の市道で通行止めが生じ、市道の交通量が国道16号に集中し、平常時以上の混雑が発生した。

近年、大型化する台風やゲリラ豪雨等の災害発生時の代替路不足を解消するため、千葉北西連絡道路の整備が期待される。

また、長野国道事務所が調査を進めている「中部横断自動車道（長

坂～八千穂間)」についても自然災害の対策として、整備効果が期待されている。既供用区間である中部横断自動車道（八千穂～佐久）間においては、令和元年の台風19号により平行する国道141号が被災し通行止めとなった際、広域的な道路交通を唯一担うことが出来たのが中部横断自動車道であったことから地域の方々から感謝の声があったとのことである。

このようなことから、自然災害の対策の一つとして道路整備の重要性が現れる。

◇ 所 見（市政の課題等に対する実現可能性等）

野田市は三方を河川に囲まれた厳しい地形条件であることから、自然災害に対する対策を着実かつ積極的に実施していく必要がある。こうした中で千葉北西連絡道路の整備は、自然災害の対策として大きく期待される。

ただし、千葉北西連絡道路の整備は国が行うとして、野田市が何もせず待つばかりの姿勢であってはならないと考える。このような大きなプロジェクトのタイミングに合わせ、千葉北西連絡道路を背骨に例えれば、野田市はまちづくりの骨格を考えていかなければならない。野田市として、千葉北西連絡道路をどのようにまちづくりに生かしていくのか、ということである。

これらを考えていくためには、まずは市民一人一人に対し千葉北西連絡道路の必要性や整備効果などを訴求し、理解、認識していくことが必要である。

